

企業成長に必要不可欠！ 利益を生み出す在庫管理の基本と実践

日時 | 2021年6月17日(木) 10:00-17:00

場所 | 伊予銀行本店南別館2階「セミナールーム」(松山市三番町5丁目10-1)

ねらい

- 企業活動における在庫管理の重要性を理解する
- 在庫管理の仕組みや手法を具体的に学ぶ

対象者

- 製造部・管理部・総務部などで、在庫管理を担当している方

講師

株式会社湯浅コンサルティング

コンサルタント うちだ はるこ 内田 明美子 氏

1987年慶應義塾大学経済学部卒、同年日本債券信用銀行(現あおぞら銀行)入行。その後、日通総合研究所経営コンサルティング部コンサルタントを経て、2004年に株式会社湯浅コンサルティングを立ち上げ、現在に至る。

物流ABC(Activity-Based Costing)等の技法をベースとした物流管理、在庫管理のコンサル経験多数。おもな著書に『図解入門ビジネス 最新在庫管理の基本と仕組みがよ〜くわかる本 [第3版]』(秀和システム_2019/1)、『図解でわかる物流とロジスティクス いちばん最初に読む本』(アノミ出版_2020/3) いずれも共著。



セミナー内容

1. 企業経営における在庫管理の重要性

在庫は供給活動に欠くことのできない活力源ですが、在庫が多すぎると経営にさまざまな悪影響を与えます。在庫管理の前提となる、企業活動における在庫の位置づけについて学びます。

- ロジスティクスと在庫管理
- 在庫が企業経営に及ぼす影響
- 改めて、在庫管理とは何をするのか

2. 在庫管理の基本

在庫の適正化には、発注のタイミングと量をロジカル(合理的)にコントロールすることが必要です。基本的な在庫管理モデルの仕組みを、簡単な演習を通じて理解します。

- アイテムごとの管理の重要性
- 在庫管理の基本モデル(不定期不定量発注、過次発注)
- 適正在庫量を維持する補充量計算の手順【計算演習】
- 波動への対応と安全在庫の持ち方
- 在庫管理導入効果の見方

3. 在庫分析の手法

在庫パレート図、在庫散布図の作成を演習スタイルで実践します。

- 在庫ABC分析をやってみよう
- 在庫散布図をつくってみよう

4. 事例から在庫管理を考える

在庫管理の導入は現場をどのように変えるか、在庫過多と欠品はなぜ同時に起きるのか、ロジカルな在庫管理を導入するとこれがどう変わるのか。2つの事例からグループ討議で考察します。

- セブン-イレブン・ジャパンの単品管理の始め【ビデオ鑑賞+グループ討議】
- くじら社の在庫問題を究明してみよう【ケーススタディ+グループ討議】

5. まとめ、質疑

● 講師からのメッセージ ●

過剰な在庫は、保管・廃棄・金利負担等により無駄なコストを発生させるうえに、在庫資金発生による資金調達枠の減少や所要運転資金の増加によるキャッシュフローへの影響など、会社経営にも大きな悪影響を及ぼします。一方で、過度な在庫削減は欠品の発生を招き、取引先との関係悪化をもたらす恐れもあります。そのような状況下で、保有在庫を正確に把握し、適正在庫の水準を分析したうえで、その水準を維持管理していくことは非常に重要なテーマです。在庫管理は企業が成長していくうえで必要不可欠であり、在庫管理の徹底により、コスト削減・生産性の向上・品質の劣化防止・注文出荷体制の改善・在庫切れリスクの低減・企業の信頼性の向上など、様々なメリットを享受することができます。